

意見交換一覧(10/30開催:地域福祉計画等策定経過説明会)

1	・気づく・支える・つながる等ソフト面の対策ももちろん必要だが、それだけでは成り立たない。ハード面も整備していく必要がある。
2	・介護職員の賃金が安いことで担い手がいないのも問題。長久手市独自で、介護職員に対し、手当等出せないものかと思う。
3	・自分のことは自分でやりたく、困ったときにあればよい。困ったときに容易に手に取れて、役立てられる計画だとよいだろう。
4	・簡単な文書で書かれている物、文書は端的に箇条書きで、フォントは大きく。
5	・視覚的に示された物があつた方が、理解しやすい。
6	・来ない人に手にとって欲しい。そういった人にも計画があることがわかり、レイアウトも含め手に取りたくなる内容の物にできるとよい。
7	・身近な人に自死遺族がいる。そういった方々は、そのようなことを隠したり、自分で抱え込む人が多い。回りに頼れる環境整備が必要。
8	・自殺者は悩むより、絶望感で自殺する。相談等につながらない人もいるが、なんらか行政との接点を持つ人もいると思う。そこで迅速に異変に気づける存在を増やして養成し、漏れなくキャッチできるようにすることも大切である。
9	・計画の内容を身近な問題や、我がごととして捉えることの出来る様な表記にしないといけない。
10	・災害の問題等は地域毎に対応をするべき、組織作りが必要。
11	・計画をどのように広めて行くのかを検討すべき。
12	・説明会等も参加人数が少ない。もっと声をかけることが必要である。
13	・今までの計画がどこまで読んでいる人がいるのか、検証をすべきである。
14	・困ったことがあるときに、どこに相談をするのかがわかりづらい。相談窓口ばかり多すぎる。
15	・町内会、自治会等あるのだから、それぞれの長に謀り協力を得るべきである。
16	・軟らかい表現で、伝わりやすいものを作るべきである。
17	・そもそも「なぜつながることが必要なのか」を示すべき。
18	・自治会を大事にしよう、という意識を持つことが出来る様になぜ自治会に入らないといけないのかを書くべき。
19	・実際に問題を持つ人に届く様な表現にした方がよい。
20	・まちづくりはすべての根幹であるので記載するべき。
21	・計画は中身の理解が難しい。行政の物であるという印象。
22	・なぜ突然自殺対策計画なのか。突飛な感じがするので、分かりように知らせてほしい。
23	・皆が安心して住むことの出来る町を目指した計画にしてほしい。
24	・地域の必要性を伝え、安心して暮らすにはどんなまちが良いか考えることが必要。